楠小学校区つながろ会

安全・安心で助け合える地域の絆づくり

楠まちづくり新聞

つながろ会
発行
会長
玉﨑和実
事務局
白井春夫
広報部
高石正憲

生活防災マップの完成

つながろ会の運営委員が自分たちで企画・作製した「生活防災マップ」が3月に完成しました。

中心になって終始活躍された山田さんから作製時に気づかれた事柄について投稿していただきました。

楠小学校区つながろ会総務部が担当した生活防災マップが出来上がりました。

校区の皆様の安全防災に役立ててもらおうとの思いで取り組んできました。いろいろな関係者のご協力を得て作製出来ました。

このマップの中にはいろいろな知恵が詰まっているので、そのことを記したいと思います。

まず第一は、運営委員の方々の知恵。

当初は「安全防災マップ」のタイトルでした。しかし、進行していく中でもっと幅広く使用してもらったらとの要望があり「生活防災マップ」とすることにしました。

また、防災減災で見落としがちなのは、生活用水の確保です。「ため池」や「井戸」など探してあれば掲載するようにとの意見も取り入れました。市役所から関係資料を提供していただいて調査しました。

「ため池」は校区の西方向に点在して解り易かったが「井戸」の在りかがむずかしそうでした。しかし、以前農家であった宅も沢山あるのできっと現存していると思いました。五軒の内四軒のお宅から公表可の返事をいただいたので掲載しております。

その他に自由記述欄（メモ欄）があるのもいいアイデアだと考えました。

第二は総務部員の方々の知恵。

「いざ」という時に即役立つように「名称」で入れるところ「凡例」で入れるところ「色別」で入れるところ。

技術的・知識的な事項は枠付き文言で入れると配置を考えました。必要最小限度でも多方面活用できるよう知恵を出し合いました。その上、限られたスペースの中で「人工蘇生法」を入れたのは立派な知恵だと自負しております。

これら諸々の知恵にも市の防災担当者の知恵が参考になったことに感謝です。

これからこのマップが楠小学校区に全戸配布され、各家庭で有効に活用していただける姿をイメージするにつけ、歓喜の想いでいっぱいです。

総務部　山田　孝

マップ作製に尽力された山田総務部長

生活防災マップの配布について

「つながろ会」総務部が手作業にて作製した「生活防災マップ」はカラー印刷にまわされ3月末に出来上がりました。

今現在お手にしている「楠まちづくり新聞」と同時に各自治会（連合自治会、町会）を通じて全戸に配布します。

「生活防災マップ」には二つの特長が備わっています①紙媒体が持つ優れた視認性であり　②身近な場所で目に触れ誰もが情報を容易に入手できるといった点です。

いつも身近にマップを置いて日々の生活に活かしながら、いざ災害が発生した際の対応をご家族で話し合って準備願います。

避難所運営マニュアル作成

今年の1月に「河内長野市避難所運営マニュアル」が作成されました。

このマニュアルは災害が発生したとき又は災害が発生する恐れがあるときに開設する避難所の開設・運営について、円滑に避難所運営ができるように、避難所運営の基本や開設手順、運営ポイントをまとめたものです。

主な内容として、避難所運営における事前対策、要配慮者や男女共同参画の視点にも配慮した避難所づくり、時間軸に沿った留意事項等々です。

今年度は数回のワークショップを開催し地域の特性に合った「避難所運営マニュアル」へと改善を加えていく予定です。

避難訓練時の避難所の様子

平成２９年度　総会案内
６月４日（日）　松ヶ丘集会所
午後７時から　参加は自由です